

MIKIMOTO 第61回日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート

# New Year Concert 2020



ヨハン・シュトラウスⅡ:ワルツ「春の声」  
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲\*  
モーツァルト:交響曲 第41番「ジュピター」

©YUSUKE TAKAMURA

沼尻 竜典  
(指揮)

Ryusuke NUMAJIRI, Conductor

神尾 真由子\*  
(ヴァイオリン)

Mayuko KAMIO, Violin

東京都交響楽団  
(管弦楽)

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

※曲目・演奏者は変更となる場合がございます。



2020 1.11 [土] 14:00 開演 | サントリーホール  
(13:15 開場) 大ホール

S席:6,000円 A席:4,500円 B席:3,000円 P席:2,000円

全席指定・税込/P席はステージ後方の座席です/未就学児入場不可

## プレイガイド

■ ソニー音楽財団  
オンラインチケット  
www.smf.or.jp



- チケットぴあ(Pコード:159-697) t.pia.jp 0570-02-9999
- イープラス eplus.jp
- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (休館日を除く10-18時)
- 都響ガイド www.tmsso.or.jp 0570-056-057 (平日10-18時)

最速先行発売:ソニー音楽財団オンラインチケット 8月29日(木)~  
プレイガイド先行発売:イープラス・ぴあ(インターネットのみ) 9月5日(木)~9月11日(水)

一般発売:9月12日(木)

コンサートの収益金は日本赤十字社へ寄付され、献血運搬車の購入・整備資金に充てられます。



## MIKIMOTO 第61回日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート

献血は、誰か見知らぬ人の、たった一つしかない命の支えに、自分のための血液を分かち合う“命の贈り物”です。

本企画は、HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年よりスタートしました。1999年には「献血思想」の普及や献血推進運動の進歩発展に特に優れた功績のあった個人・団体に贈られる最高の賞である「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞しました。

当公演の収益は、どんな非常時においても、誰でも、いつでも、安全に献血で治療を受けられる環境がより整うことを願い、“献血運搬車の購入・整備等の血液事業への充当”に目的を限定して日本赤十字社に寄付いたします。

このコンサートの主旨をひとりでも多くの方にご理解いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

公益財団法人ソニー音楽財団

2018年度(第60回)までの累計寄付金額:106,455,892円

### 沼尻 竜典 〈指揮〉

Ryusuke NUMAJIRI, Conductor



びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。

1990年プザンソン国際指揮者コンクール優勝。ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、トリエステ・ヴェルディ歌劇場管、シドニー響等、欧米各国のオーケストラを指揮。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群響、日本センチュリー響、リューベック歌劇場音楽総監督のポストを歴任。

1995年、自ら結成したトウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ(現トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア)と共に、三鷹市芸術文化センターを拠点に活動を開始。「ベートーヴェン交響曲全集」をはじめ数々の録音も高く評価されている。オペラ指揮者としては1997年に『後宮からの誘拐』でデビュー、近年では、ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、パーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。また、びわ湖ホール、リューベック歌劇場でも数々のプロダクションを成功に導いている。2011年にはサイトウ・キネン・オーケストラへデビュー、バルトーク『中国の不思議な役人』で成功を収めた。

2014年1月にはオペラ『竹取物語』を作曲・世界初演、国内外で再演されている。

2017年紫綬褒章受章。

### 神尾 真由子 〈ヴァイオリン〉

Mayuko KAMIO, Violin



4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。ニューヨーク・タイムズ紙でも「聴く者を魅了する若手演奏家」「輝くばかりの才能」と絶賛される。国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ロシア・ナショナル・フィルハーモニー交響楽団、BBC交響楽団などと共演。

近年では、ズーピン・メータ指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団と南米ツアー、ルドヴィク・モルロー指揮イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団とイスラエルツアーを行った。サン・モリッツ、コルマル、ヴェルピエなどの著名フェスティバル、ニューヨーク、ワシントン、サンクトペテルブルグ、モスクワ、フランクフルト、ミラノなどでリサイタルを行っている。

これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・プロンの各氏に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731年製作「Rubinoff」を使用している。

大阪府知事賞、京都府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオーケストラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。

### 東京都交響楽団 〈管弦楽〉

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏など多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー:交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年にはベルリン、ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。

“首都東京の音楽大使”として、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化と気運醸成を図っている。

公式ウェブサイト <https://www.tmsor.jp/>

# MIKIMOTO

株式会社ミキモト・株式会社御木本真珠島・御木本製薬株式会社